

主題について

ねらいとする価値

国や郷土の伝統と文化を大切にする心は、過去から現在に至るまでに生まれた伝統と文化に関心を持ち、それらと現在に自分との関わりを理解する中から芽生えてくるものである。

地域ごとに独自のものを生み出した郷土の伝統と文化を愛して受け継がれていくものは、伝統と文化とともに、郷土への愛や誇りであることに気付くことができることをねらいとしている。

児童の実態

- ① 児童はこれまでに「自然愛護」の内容項目で、自然の偉大さを知り、自然を守り続ける大切さを学習している。また、地域の具体的な行動を起こすことの大切さを考える経験もしている。
- ② 本学級の児童は、行事の内容には個人差はあるものの、地域の行事に参加して、地域の人達と触れ合う楽しさや、活動後の満足感や達成感を味わっている。
- ③ 道徳科の時間では、自分の経験と結びつけながら考えているものの、自分の意見を積極的に発言する児童には偏りがある。自分の考えに自信をもたせながら意見を述べる児童を増やしていきたい。

考え、議論する道徳の時間を充実させるために

○総合的な学習の時間や他教科と道徳科の授業を関連させ道徳学習プログラムの作成

児童は、総合的な学習の時間に「ふるさと海田の魅力発見!～南小校区お宝発掘し隊～」の学習において、校区内にある歴史的文化財や史跡について調べ、ガイドブックにまとめたり、地域の方や保護者にガイドツアーを体験したりしている。この学習に取り組む前は、海田小学校区にある「千葉家」を知っている児童は多いが、南小校区にも歴史的文化財や史跡があるということを知っている児童はほとんどいなかった。そこで「西国街道・海田市ガイドの会」の方の案内で、校区内の文化財を実際に見られることで、校区にもたくさんの文化財があることに気付いた。文化財を調べる活動を通して、歴史ある重要な文化財が代々引き継がれていることに気付くことができた。

国語科での「和の文化を受けつぐー和菓子やさぐる」の学習では、私たちの毎日の生活の中には、受け継がれてきた和の文化がたくさんあり、その和の文化にはどんな歴史や他の文化との関わりがあるのか、どんな人が支えているのかを考えることで日本の文化を受け継いでいくことができることを学習した。自分たちでも、「着物」や「琴」、 「和紙」などの和の文化について詳しく調べる活動を通して学びを深めた。道徳科「正月料理」では、何気なく食べているお節料理に込められた意味や願いを知ることで、受け継がれていることを知ることができた。

これらの学習をふまえて、道徳科「親から子へ、そして孫へと」の授業を行い、健太に共感しながら神楽を引き継ごうと思うようになった理由を考え、話し合わせることで、伝統と文化のよさに改めて気付き、受け継ぐことの意味を考えることができると思う。郷土の伝統と文化は、地域ごとに独自のものを生み出し、郷土の誇りになっている。代々受け継がれていく大切なものとは、伝統と文化であるとともに、それらを支える郷土への愛や誇りであることを考えさせたい。ふるさと海田に残る伝統や文化も同じように、先代が愛し、誇りに思ったからこそ、今も大切にされ受け継がれていることを改めて考えることで、地域のお宝を受け継いでいくためにできることは何か、自分たちにできることを考えさせたい。

本時の学習

(1) 本時の目標

伝統行事「北山神楽」に対する思いを考えることを通して、自分たちも郷土に伝わる伝統と文化を愛し、受け継いでいこうとする態度を育てる。

(2) 本時の学習展開

過程	学習活動 ○主な発問 ●中心発問 ・予想される児童の心の動き	◇指導上の留意事項 □道德学習プログラムとの関連 □考え・議論する時間の工夫 *評価
導入	<p>1 お宝ガイドブックを作ったりガイドツアーを行ったりして思ったことを想起し、本時の学習テーマを捉える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ たくさんの人に知ってもらいたい。 ・ もっと多くの人に広めたい。 ・ お宝を大事にしたい。 	<div style="border: 2px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>□道德学習プログラムとの関連</p> <p>総合的な学習の時間の授業で考えたことを想起、及び確認することで、「地域のお宝を受け継いでいくためにできることはなんだろう」という本時の学習テーマを捉えられるようにする。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 5px; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;"> <p>テーマ 地域のお宝を受け継いでいくためにできることはなんだろう。</p> </div>
展開	<p>2 資料について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 北山神楽について健太はどのように思っていたでしょう。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 町のじまんである。 ・ なくなるのは寂しい。 ・ 受け継ぐ人がいなくなるので、保存会に入って頑張ろう。 ・ 大切なのは分かるけど、横笛の練習は、厳しくて嫌だ。 ・ 150年前にも引き継ぐ人がいなくて苦労したのに、続けてきたのはすごい。 ・ 地区の人たちが協力して続けてきたんだ。 ・ 北山神楽は、リレーのバトンのように次々、引き継がれてきたものなんだ。 ・ これから生まれてくる人のものなんだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ あらすじを確認しながら資料を読み、年次ごとに思いを追いながら板書することで、北山神楽や地域への思いや愛情が深まっていく心の変容がわかるようにする。 ◇ 他のお祭りや「北山神楽」を比べ、共通点を考えることで、地域の伝統と文化のよさに気付かせる。 ◇ グループで話し合っ、多面的な視点から考えられるようにする。 <div style="border: 2px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>□考え、議論する時間の工夫</p> <p>健太に共感しながら神楽を引き継ごうと思うようになった理由を考え、話し合わせることで、伝統と文化のよさに気付くことができるようにする。</p> </div>

	<ul style="list-style-type: none"> ● 健太が神楽を引き継ごうと思うようになったのは、どうしてでしょう。 ・ 北山神楽はやっぱりすばらしいと思ったから。 ・ 北山神楽が好きになったから。 ・ 自分たちで終わらせてはいけない。次の人たちに伝えようと思ったから。 ・ 他の祭りと同じように続けたいと思ったから。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ ワークシートに書く活動に取り組ませた後、ペアで話し合いをさせ、自分の思いを交流させる。その後、学級全体で話し合い、多様な意見に触れさせる。 * 健太に共感し、伝統と文化のよさに気付いている。(ワークシート, 発言)
	<p>3 テーマについて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 校区にもたくさんのお宝がありました。その地域のお宝を受け継いでいくためにできることは何でしょう。 ・ 知らない人に知ってもらう。 ・ 作ったガイドブックを公共施設に置かせてもらう。 ・ ガイドツアーを開く。 ・ お祭りに参加する。 ・ 地域の行事に参加する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ みなみで学習したことを基にしながら考えさせると同時に、地域の行事にも目を向けさせる。 ◇ テーマについて、自分なりの考えをもたせた後、全体で交流する。その際、友達の意見を聞いて、いいなと思うものはどれかという視点をもって意見交流させる。 * 伝統と文化のよさに気づき、テーマ「地域のお宝を受け継いでいくためにできることはなんだろう」について、自分なりに考えを深めることができているか。 (発言, 観察)
終末	<p>4 本時の学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 今日の振り返りを書きましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 今日の学習を振り返り、伝統や文化を受け継いだことをどう思うか、自分の考えを見つめさせて道徳学習シートにまとめさせる。 * 地域のお宝を受け継いでいこうという意欲を高めることができたか。(道徳学習シート, 発言)